

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧東京北部小包集中局跡地活用				所管	企画財政部 用地・施設活用担当			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	255	計画事業名	旧東京北部小包集中局跡地活用					
	長期総合計画体系	[基本目標] IV-2. 行政経営の推進						事業の開始・終了年度		
		[小 柱]						[事業開始]	平成 20 年度	
		[施 策]						[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区大規模用地活用推進会議設置要綱 台東区大規模用地活用推進進捗管理会議設置要綱						
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	旧東京北部小包集中局跡地(以下、本用地)の活用について、必要な清掃車庫機能を維持しつつ、地域活性化に資する有効活用を図る。								
事業内容 [29年度]	本用地については、過去の調査結果や、平成29年1月に地域から提出された「旧東京北部小包集中局跡地活用に関する意見書」や地域協議会での意見を参考に活用を検討した。検討の結果、本格活用の可能性を高めるため、既存施設を解体し、北部地区まちづくりと連携したにぎわいの創出や国内外から北部地域への来街拠点として、オープンスペースを整備する方針を定めた。									
委託の有無	一部委託	委託内容		台東区大規模用地活用検討支援業務委託等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績			
	活動指標	活用	-	検討	検討	検討	検討	-		
		オープンスペースの整備	-	事業者選定	-	-	-	-		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			(5,294)		(3,155)		(14,398)	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			(18,446)		(27,643)		(23,463)	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			(5,294)		(3,027)		(14,398)	
		総経費			0		(128)		0	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0			
一般財源(区負担額)			(23,740)		(30,798)		(37,861)			
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	本用地は貴重な大規模用地であり、活用にあたっては、まちづくりの観点や地域活性化等、様々な視点から行政が主体的に判断していく必要がある。							
	効率性	3	既存施設解体やオープンスペース確保について、全体スケジュールを検討し、今後必要となる調査を先行して行い、効率化を図った。							
	手段の適切性	3	地歴調査等を高度な専門知識を有する民間事業者へ委託し、効果的に調査を実施した。							
目的達成度	3	本格活用の可能性を高めるため、既存施設を解体し、北部地区まちづくりと連携したにぎわいの創出や国内外から北部地域への来街拠点として、オープンスペースを整備する方針を定めた。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
本格活用の可能性を高めるため、既存施設を解体し、にぎわい創出の拠点としてのオープンスペースを整備する方針を定めた。引き続き地域協議会との協議を行い、清掃車庫機能を継続しながら既存施設を解体し、オープンスペースを整備するための基本計画を策定した上で、早期着工を目指す。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		